

あけましておめでとうございます

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。
本年もより一層のご支援を賜りますよう、バルブ事業部一同
心よりお願い申し上げます。



千葉和典 田中大樹 水谷浩平 五十嵐竜太 小島和彦
田上久美子 石倉昌博 伊東祐子

今年もスモレンを宜しくお願ひします！

担当者の一ヶ月



明けましておめでとうございます。2013年も宜しくお願ひします。
私事ですが、先月40℃近い熱が出まして…何とか病院へ。
察の定インフルエンザ検査で鼻をグリグリ→ただの風邪との事
薬飲んで治らぬ。病院に行くと扁桃腺が3倍位に!!
これが原因と分かり耳鼻咽喉科へ。点滴打って薬飲んで
速攻回復しました。扁桃腺炎が耳鼻科と26日初め知りました..

五十嵐竜太 2013年は無敵な体を作りたいと思います!!

今月の目次

- ・ご挨拶 (千葉事業部長)
- ・事例紹介コーナー 「ステンレス製ネジこみの採用事例」
- ・今月の特集 「フット仕様のメンテナンス手順書」
- ・石崎からのお知らせ 「テクニカルショー ヨコハマ2013出展のお知らせ」
- ・担当者の一ヶ月

◇本年もご愛顧のほど宜しくお願ひ致します◇
2013年が始まりました。本年が皆様にとりましてご健勝、ご繁栄の一年となりますこと、心より祈念致しております。
さて、本年はスモレンスキにとっても新商品発売となる大切な年となります。2月にヨコハマで開催される展示会でお披露目となる「グランドフット」はフット仕様を超える低損失とイージーメンテナスを実現した【フット弁代替バルブ】。あのわずらわしいフット弁修理交換工事はもう不要です。
好調のフット仕様は、消防設備での実績も増えており、是非この機会にご検討頂けましたら幸いです。なお、お約束納期でお届け出来るよう在庫、出荷体制を整えておりますが、ご予約案件へのご対応はお早めにお手配頂きますよう重ねてお願ひ申し上げます。



バルブ事業部長 千葉 和典



浅井信裕(技術主任)の事例紹介コーナー
【スモレンスキチャッキバルブ ステンレス製ネジこみの採用事例】

【課題】

人口透析には患者1人あたり40ℓ/hの透析液を使用します。週に3日、1日4時間くらいかかるので、膨大な量の透析液を必要とするのですが、病院でそんな量は保持できない為、透析液の濃縮液をRO水(精製水)によって35倍に割って使っています。
そのRO水の送水ポンプの出口側で通常はSUS製スイングCVを使用しているが、送水先が5階など揚程が高い場合、ポンプ停止時にスイングCVが弁漏れを起こし、貯水槽タンクからRO水が溢れてしまう不具合があった。



【解決】スモレンスキチャッキバルブ SMGS 10K 20A に交換して漏れ、逆流を抑えた
スモレンはゴム製のパッキンを採用し、スプリングにより弁体を閉止する機構となっているので、止水性に優れています。
スモレン導入後、漏れもなく順調に運転しています。現場からの要望でスモレンを代替品として使うことも多いと聞いております。



SMGS-100
※20Kネジこみも製作できます。

バルブを配管からはずしてのメンテナンス要領《ストレート型フート仕様》

A. 分解（残圧、水抜き注意！）

- ①ポンプ出口側の仕切弁を閉鎖し、フート仕様のバイパス弁を開けて仕切弁～フート仕様までの水を抜く。(図1)
- ②配管よりフート仕様を取り外す。(図2)



図1 バイパス弁開放 図2 配管からバルブ取り外し

B. 点検

- ① 内部点検
弁箱内の異物、スプリング・シートパッキンなどの部品の傷・損傷の有無を確認。
- ② 作動確認
入口側より棒状のものにて全閉・全開の作動をおこない、スムーズに作動がおこなえるか確認。（開閉に異常がある際は、弊社へお問い合わせください）(図5)
- ③ 内部清掃
バイパス弁を開放して、入口側弁体を開いた上で流水にて洗浄をおこなう。
また、弁座面やシートパッキン面に付着物が確認された際はウエスなど柔らかい布にて付着物を取り除いて下さい。(図6)
※弁体はスプリングにて押し込んでいる為、指を挟まぬよう十分に注意願います。



図3 出口側 図4 入口側



図5 作動検査

C. 水張検査

- ①バイパス弁を閉鎖させ、バルブ出口側から水を張り、入口側からの漏水がないことを確認する。(図7、図8)
(バイパス部から漏水が起きてしまう際は、バイパス弁一式での交換になります)

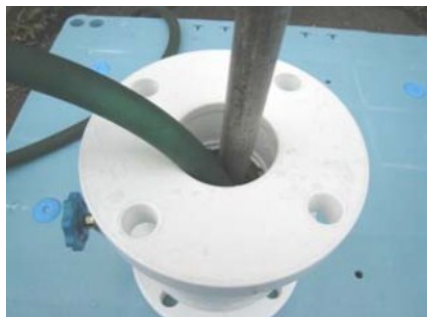


図6 流水による内部洗浄



図7 水張検査



図8 漏水有無の確認

- D. B～Cの作業をおこない、異常がないことを確認した後、配管へ再接続をおこなう。

注意：無理に上部ガイドを外しますと変形や芯ズリの危険性がありますのでフート仕様ストレート型は内部部品の分解・取り外しは不可となります。

バルブを分解してのメンテナンス要領《アングル型フート仕様》

A. 分解（残圧、水抜き注意！）

- ①ポンプ出口側の仕切弁を閉鎖し、フート仕様のバイパス弁を開けて仕切弁～フート仕様までの水を抜く。
- ②蓋のボルトを全て外す。(図1)
- ③蓋を上方へ真直ぐゆっくり引き上げる。



図1 ボルトの取り外し

B. 内部部品の取り出し

- ①蓋を取り外した後、ガスケット、スプリングの順に取り出して下さい。(図2)
- ②弁体一式を上方へ真直ぐゆっくり引き上げる。(図3)

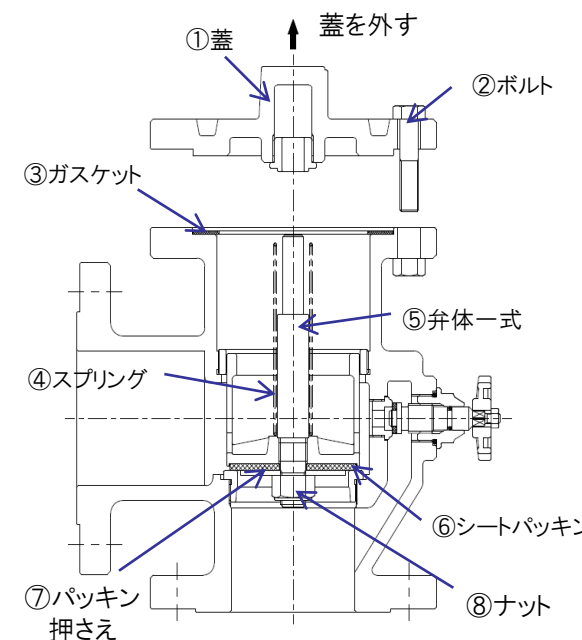


図2 内部部品の取り出し



図3 弁体一式の引き上げ

C. 点検及び交換

- ①弁箱内の異物、スプリング・シートパッキンなどの部品の傷・損傷の有無を確認。
- ② 内部清掃
弁座面やシートパッキン面に付着物が確認された際はウエスなど柔らかい布にて付着物を取り除いて下さい。(図4)
- ③ シートパッキンを交換する場合は、ナットを取り外し、パッキン押えを取り外して行う。(図5)



図4 弁箱内の清掃

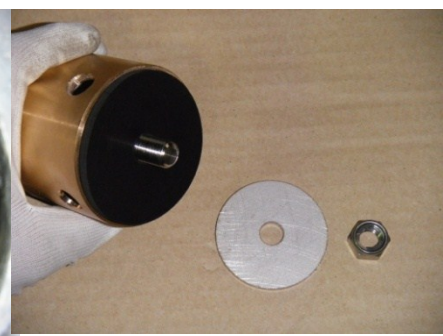


図5 シートパッキンの交換

D. 組立

- ①蓋のフランジ面に付着した汚れを落とす。
- ② ガスケットが劣化している場合は新しいガスケットを取り付ける。
- ③ A・Bの逆を行ってゆっくり組立て、ボルトをしっかり締める。

ご注意：作業にあたっては十分安全を確保して行ってください。作業上に起こった事故・破損につきまして、弊社は一切の責任を負いかねます。